

西小倉地域  
小中一貫校

# ずさんな基本計画素案

## 説明責任を果たす計画案を示すべき

5月11日に行われた文教福祉常任委員会で「西小倉地域における小中一貫校の整備に向けた検討状況について」報告が行われました。報告では、基本計画素案、左図の配置イメージA案・B案などが示されました。

質疑で、党議員の「基本設計はいつまでに作るのか」との質問に、当局は「5月末までにつくる」と答弁しました。しかし、直後に「6月ぐらいになる」と答弁が一貫していません。

市教委は、委員会報告と同日の夜に「西小倉地域小中一貫校検討委員会」にも報告し、基本計画作成する予定としていましたが、教室配置、給食室の設置をはじめ学校施設について具体的には何も示していません。黄檗学園小中一貫校の時には今回より具体的な基本計画素案を示していました。何を聞かれても何も答えられないような基本計画（案）では議論になりません。

2007年に改築を行った大久保小学校は、児童数増加のため、学年毎に設置したフリースペースを全て教室に転用、育成学級はプレハブを校舎外に設置して運用するなど見通しの甘さが露呈しています。推移の見通しが甘く生徒数の増加で教室に変更することになりました。新しい学校では精緻に考えていく必要があります。

子ども達の放課後の活動場所の確保、現在4つの学校で行われている地域各団体の活動場所の確保が必要であり、統廃合した後の小学校跡地を活用するなど一貫校の敷地外に第二グラウンドの設置をするべきです。

### 「小学校給食のあり方も見直す」 議論なく方針変更など論外

宇治市は小学校給食を自校方式で実施しています。しかし、市教委は小中一貫校の学校給食について「どうしていくか現状報告ができない」と答弁。一貫校の小学校給食について実施方法は定まっていないとしています。市の方針を変えるのであれば、十分な議論が必要ですが、教育長は「給食の提供の在り方について検討する時期に来ている」といきなり方針変更を示唆しました。何の議論もなく、全小学校に関わる今後の学校給食のあり方について、市教委の一存で方針転換をするなど論外です。中学校も小学校と一緒に自校方式で給食の提供を行うべきです。

日本共産党  
宇治市会議員団

議員団だより 2022年5月22日号  
宇治市宇治琵琶33 宇治市役所内  
TEL : 0774-22-3141(内線 2817)  
FAX : 0774-24-7884

共産党議員団へ  
ご意見・ご相談

